

子どもの姿ビフォーアフター

めざす活用力は、どの程度育っているかというと……

1学年

活用カ
操作や考えを算数的な表現で話したり、かいたりすることができる。
習得した内容を活用して問題を作ることができる。

<算数ノート>

ひき算学習の前半では、教員に教えられた通りにひき算の表し方をかいていた。

ひき算の後半では、絵を見て○の並べ方も自分で考えてかけるようになった。

<作問>

1学期前半、たし算の合併の絵は答えのみの表し方であった。

1学期後半、ひき算では、数個ブロック操作の取りよる記号も入れてかけた。

5学年

活用力
習得した内容を活用して問題を解くことができる。
自分の考えを絵・図・式などを使って分かりやすく説明することができる。

授業中にまとめたものをしたあと、本時で習得したことや活用する操作問題に取り組んできた。

ビフォー

10分の1, 100分の1の計算

- 習ったことを正しく使った作問ができていない。
- 問題、式、答えの三つを書いている。
- 説明までには至っていない。

4月から6月になって

アフター

整数÷整数=小数の計算

- 習ったことを正しく使った作問ができていない。
- 授業で問題解決した問題文とは問題の系統が違う作問を工夫している。
- 問題、式、答え、計算の仕方の四つを書いている。
- 計算の仕方にも自分の考えが分かりやすく説明できるように図を工夫している。

2年生では長さの学習のふり返りで、算数用語や単位cm, mmを使ってまとめることができました。

3年生では算数的な用語を加えた線分図で問題を考える姿が見られるようになりました。

4年生では課題に対して自分の考えを式化したり、考えの道筋を自分の言葉で書いたりするようになってきました。キーワードを使ってまとめるようになりました。

6年生では提示された漢字を正しく使い、主述の整った文章を書くことができるようになってきました。